

An aerial photograph of a city, likely Fukuoka, Japan. The image shows a mix of modern, multi-story buildings and older, more densely packed residential structures. A road with a roundabout is visible in the upper right, and a railway line runs through the lower left. The overall scene is a dense urban environment.

すいたの環境

— 吹田市環境白書 —

平成29年版（2017年版）

はじめに

昨年11月、地球温暖化対策に係る2020年以降の新たな国際枠組みである「パリ協定」がアメリカ、中国、EU、インドなどの批准により、発効の条件である「批准国が55か国以上」及び「批准国の温室効果ガス排出量が世界全体の55%以上」を満たし、採択からわずか1年弱で発効されました。

また、発効直後に開催された第22回国連気候変動枠組条約締約国会議（COP22）においては、パリ協定のルール作りの作業計画を具体的に定める等の期待された成果を挙げ、順調なスタートが切られました。

多量排出国であるアメリカのパリ協定離脱表明による不安要素はあるものの、他に追隨する国はなく、アメリカ離脱後もパリ協定が着実に実行されていくことが期待されます。

我が国は、昨年5月に「地球温暖化対策計画」を閣議決定するとともに、発効に間に合わなかったものの同年11月にパリ協定に批准し、その対策を進めていくことを明らかにしています。

本市においては、近年の市域のエネルギー消費量や温室効果ガス排出量は増加傾向にあります。これらの内訳を見ると、家庭部門と業務部門の合計が5割を超えている状況です。今後、節エネルギー、省エネルギー、再生可能エネルギーの導入などを中心に市民・事業者によるライフスタイルや事業活動の転換へ向けて、さらなる取組が必要です。

本市は、これらの取組を進めるため、引き続き「第2次環境基本計画 改訂版」及び「地球温暖化対策新実行計画改訂版 すいたんのCO2（こつこつ）大作戦R」を着実に推進します。

本書は、本市が実施している環境施策の進捗状況と環境の状況についての報告書です。本書をとりまとめることで、環境基本計画に掲げた目標の到達度合いを確認し、施策の見直しや充実を図ります。あわせて、身近な環境に関心を持ち、自らのライフスタイルを環境の視点から見直すきっかけとなれば幸いです。

——環境白書の編集について——

この環境白書は、吹田市環境基本条例に基づいて毎年発行しているものです。

平成29年版（2017年版）は、データや集計結果については、平成28年度（2016年度）における実績をとりまとめました。それ以外の記述は、平成29年（2017年）10月初旬時点での状況です。

本書は、現在課題となっていることにスポットをあて、まとめています。詳細なデータは資料編にまとめ、吹田市ホームページに掲載しています。本書とあわせてご活用ください。

目次

第1章 吹田市の環境政策	1
第2章 目標達成への施策の展開	
第1節 エネルギー	3
限りあるエネルギーを大切に使う低炭素社会への転換	
第2節 資源循環	11
資源を大切にする社会システムの形成	
第3節 生活環境	15
健康で快適な暮らしを支える環境の保全	
第4節 みどり	25
みどりを保全・創出・活用し、市民に親しまれるまちの形成	
第5節 都市環境	29
快適な都市環境の創造	
第3章 重点プロジェクト	35
第4章 環境基本計画に基づく進行管理	37
資料編 環境まちづくりデータ	39
(資料編の内容は吹田市ホームページに掲載しています。)	
1 環境基本計画	
2 環境関連条例	
3 環境基本計画の進行管理	
4 環境関連資料	
5 吹田市まちづくり用語集	
6 環境年表	
7 環境記念日	